

名古屋美容専門学校

自己評価報告書

(平成26年度)

名古屋美容専門学校

1. (1) 名古屋美容専門学校教育理念

美容に必要な基礎教育と専門的実践教育を行い、豊かな知性と誠実な心を持ち、社会に貢献できる人材を育成する。

(2) 名古屋美容専門学校学則

第 1 章 総 則

(目 的)

第3条 本校は、教育基本法の精神に則り、学校教育法に従い、美容に必要な基礎教育と専門的実践教育を行い、豊かな知性と誠実な心を持ち、社会に貢献できる人材を育成することを目的とする。

(1) 教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか	4 3 2 1
・学校における職業教育の特色は何か	4 3 2 1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	4 3 2 1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	4 3 2 1
・学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	4 3 2 1

・本校の教育理念・教育目標・教育方針・アドミッションポリシーは具体的に示している。学外にはホームページ、募集パンフレットで開示している。入学生に対してはハンドブックに記載し、教員が入学前説明会及び初日オリエンテーションで周知している。
又、理念・教育目標の実現に向け、教育内容の差別化と向上を図るべく、教育課程表を適時見直している。

・業界のニーズに対しては、就職業者対象の説明会でアンケートを取り、カリキュラムに反映している

<課題、今後の方策、特記事項>

・将来構想については、H28年度までは明記しているが、それ以降について方向性は示しているが明文化する必要がある。

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	4 3 2 1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	4 3 2 1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、また有効に機能しているか	4 3 2 1
・人事、給与に関する規定等は整備されているか	4 3 2 1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4 3 2 1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4 3 2 1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	4 3 2 1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	4 3 2 1

理事会で意思決定した法人の運営方針、事業計画に基づき、本校の中長期計画や事業計画に基づいて学校運営を実施している。また、学校運営を行うための諸規程や諸規則については整備しており、適切に運営している。

<課題、今後の方策、特記事項>

業務の効率化を図るため、専修学校管理システムをH28年度に予算計上する予定である。教育活動に関する情報はHPなどで適時公開しているが、今後シラバスの公開を追加する。

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4 3 2 1
・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4 3 2 1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4 3 2 1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4 3 2 1
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携による職業体験・インターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4 3 2 1
・授業評価の実施・評価は制けられているか	4 3 2 1

*授業評価の実施・評価体制はどのようか	4	3	2	1
・職業教育等に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	4	3	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確化になっているか	4	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4	3	2	1
・人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	4	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	4	3	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	4	3	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	4	3	2	1

学生に対して、シラバスで各教科の到達目標を示している。又、各授業時間のゴールとスケジュールを示し授業を進めている。ハンドブックには成績評価や単位認定などについて記載し、学生にも周知している。
又、教員の授業力を高めるため、学生による授業改善アンケート、教員による授業評価、模擬授業研修会を行っている。

<課題、今後の方策、特記事項>

- ・職業教育等に対する外部関係者からの評価が必要である。
- ・進級条件については明記されていない部分があるため今後整備する。
- ・資格取得などに関する指導システムは、国家試験科目についてはできているが、他の検定科目については不足しているため今後整える必要がある。

(4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、やや不適切…2、不適切…1
・就職率の向上が図られているか	4 3 2 1
・資格取得率の向上が図られているか	4 3 2 1
・退学率の低減が図られているか	4 3 2 1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4 3 2 1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	4 3 2 1

就職率の向上、資格取得(国家試験)の向上、退学率の低減の仕組みはできており、成果も出しているが、教員のスキルや情報の共有に遅れやバラつきがある。

<課題、今後の方策、特記事項>

- ・問題発見・学生対応のスピード、学生・保護者との人間関係の構築など、担任力の強化が必要である。
- ・卒業生の活躍や評価、教育活動の改善のための活用や情報共有ができていない。

(5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4 3 2 1
・学生相談に関する体制は整備されているか	4 3 2 1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	4 3 2 1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4 3 2 1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	4 3 2 1
・学生の生活環境への支援は行われているか	4 3 2 1
・保護者と適切に連携しているか	4 3 2 1
・卒業生への支援体制はあるか	4 3 2 1

- ・学生支援のため、奨学金制度、課外活動、一人暮らしのためのセキュリティの高い住居の紹介など様々な支援体制を整備している。
- 又、業界団体や業界紙の支援のもと、教育や職業教育の取り組みを行っている。
- ・卒業生への支援体制は求人紹介・資格取得(国試再受験支援)・就職相談・個別相談などを行っている

<課題、今後の方策、特記事項>

近隣姉妹校と共同で、カウンセラーや養護教員などの体制も整える必要がある。

(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4 3 2 1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4 3 2 1
・防災に対する体制は整備されているか	4 3 2 1

- ・施設・設備は、教育上の必要性に対応できるよう整備されているが、授業のためのモニター台数などが不足している。
- ・消防法に定められている最低限の項目はクリアしている。

<課題、今後の方策、特記事項>

- ・学習に必要な老朽化した学習机はH27、H28で入れ替えをする。
- ・授業時、移動式ロッカーは固定する。

(7) 学生の受入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・学生募集活動は、適正に行われているか	4 3 2 1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4 3 2 1
・学納金は妥当なものとなっているか	4 3 2 1

学生募集活動は愛知県各種学校連合会の規定に沿って適正に行っている。
 教育成果は学校案内、ホームページ、SNSを通じて正確に伝えている。
 高校や会場での業者企画のガイダンスにて在学生の状況を高校生に伝えている。
 高校教諭に対しては、直接高校訪問を行い卒業生の状況を報告している。
 学納金も適性であり、入学前の辞退者についても必要に応じて返金を行っている。

<課題、今後の毅然方策、特記事項>

奨学金の充実と共に、授業料の改定(値上げ)も検討する必要がある。

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4 3 2 1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4 3 2 1
・財務について会計監査が適正に行われているか	4 3 2 1
・財務情報公開の体制整備はできているか	4 3 2 1

予算執行、監査、及び財務の情報公開については、概ね適正になされている。
 人件費の増加分を含め、支出を抑止については予算を下回るよう執行している。

<課題、今後の方策、特記事項>

支出は予算内執行をしているが、更なる利益を出せるよう、各事業を見直す必要がある。

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4 3 2 1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4 3 2 1
・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4 3 2 1
・自己評価結果を公開しているか	4 3 2 1

専修学校設置基準や関係法令の遵守を徹底し、適正な運営がなされている。個人情報については方針をハンドブックに明記し周知している。自己評価の実施と問題点の改善にも努めている。

<課題、今後の方策、特記事項>

自己評価の開示が必要である。

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3、 やや不適切…2、不適切…1			
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献を行っているか	4	3	2	1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	4	3	2	1
・地域に対する公開講座等を積極的に実施しているか	4	3	2	1

ミス・ユニバース日本代表による公開講座(BEAUTY CAMP)を開催している。
 大学新聞社主催の教育関係者を対象とした進路アドバイザー検定の会場に校舎を提供している。
 学校祭(HALLOWEEN)に近隣住民や就職業者などを招待している。

<課題、今後の方策、特記事項>

学生のボランティア活動の奨励・支援は今後の課題である。H27は献血や金山商店街の会員になり、地域貢献できる活動に参加していく。

(11) 国際交流

現状、留学生の受け入れは行っていない。本校学生と姉妹校留学生の着付け授業を行うなど国際交流の場を設けている。